



水上から歴史にふれる



開催日：18年8月20日(日)終了

# 木曾三川水郷の旅

【コース】桑名九華公園「本多忠勝銅像」前ほんただただかつ～内堀船溜り乗船うちぼりふなだまり～七里の渡し跡ゲートより揖斐川へ～住吉浦～長良川河口堰せんだうひらこうもん～船頭平閘門上陸～船頭平公園（閘門・木曾川文庫見学）～再乗船～国営木曾三川公園下船～治水神社・千本松原・水屋・治水タワーなど・昼食～再乗船～揖斐川～七里の渡し跡～内堀船溜りで下船・解散（約6時間）

## フォトスケッチ



木曾三川公園  
愛知・岐阜・三重の三県にまたがる日本一大きい国営公園。



木曾川文庫には木曾三川に関する図書や研究論文など、情報発信の場となっている



容赦ない真夏の太陽が照りつける中、3隻に乗船した総勢65名は内堀船溜まりから揖斐川の水上进行。長良川河口堰通過のダイナミックな未体験ツアーに歓声上がる。



国の重要文化財に指定されている閘門式運河。木曾川の水位が長良川より少し高いため、この閘門式運河によって調節している。「小パナマ運河」の称があり、100年も前の建造物が今も機能しているのだ。先人の土木技術の偉大さを感じる場所。



水屋・・・洪水から生活を守るための輪中地帯独特の建物。智恵と工夫が見られる。ここではボランティアガイドさんによる詳しい説明を受けることが出来た。この地は度重なる洪水と治水の歴史を繰り返しており、先人たちの血のにじむような努力と、長い歳月の末に、現在の姿が確立

されたことを感慨を持って聞くことができた。明るく快活なガイドさんのお話の裏に秘められた苦闘の歴史を忘れてはならない。

次回予定

12月3日(日)

もみじ谷 紅葉と史跡の水沢をあるく

参加者募集中!